

2025年9月25日

報道関係各位



株式会社 シーディーアイ  
代表取締役社長 濱岡 邦雅

### 【介護×AI】ケアプラン作成自動化に向けたAI補完機能を実装

十数項目の入力で要介護認定調査項目を自動補完  
要支援の帳票は3分で作成

株式会社シーディーアイ（以下「CDI」）は、AIを活用したケアマネジメント支援ツール「SOIN」のバージョンアップを実施し、「アセスメント入力自動補完機能」と「介護予防サービス・支援計画書の自動作成機能」を追加しました。これにより、ケアマネジャーはアセスメント入力や帳票作成にかかる時間を大幅に削減できます。従来の要介護の計画書に加え、今回新たに要支援の計画書に対応し、AIを活用したケアマネジメントをさらに推進していきます。

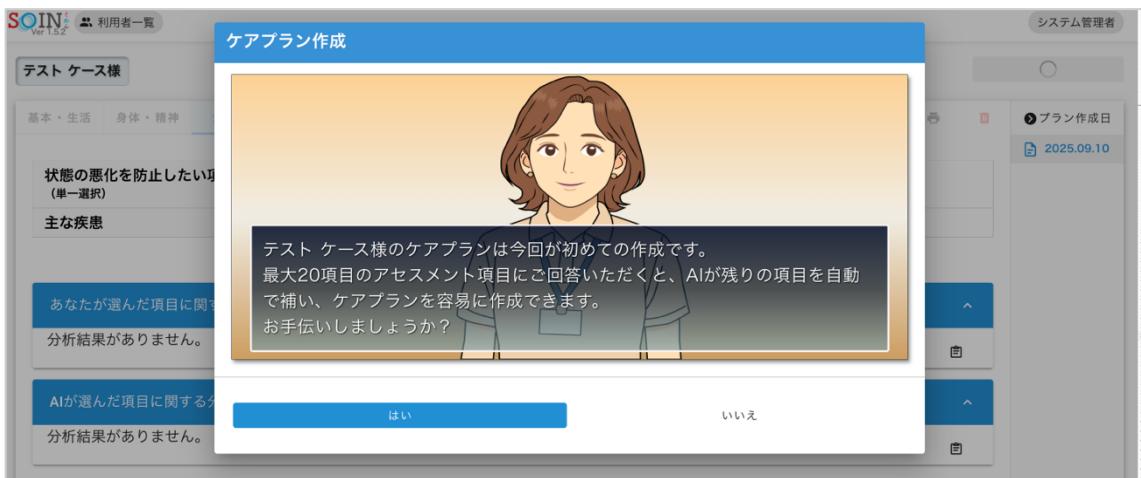
## 《新機能の概要》

### 1. アセスメント入力自動補完機能

「アセスメント入力自動補完機能」は、要介護認定調査項目の一部を入力するだけで、残りの項目をAIが自動で補完する機能です。十数項目を入力すると、SOINのAIが匿名化された約50万件の認定調査情報データを元に、他の調査項目の内容を推定しケアマネジャーに提示します。

さらに、各入力にはAIの信頼度が表示されるため、ケアマネジャーは似た状態像の他のケースの状況も参考にしながら、その人の状態を確認することができます。

従来、新規でアセスメントを一から入力する場合には、多くの項目の入力が必要でしたが、本機能の導入により入力作業の負担が軽減されます。また、既に他システムでアセスメントを作成済みの場合は、前回リリースの「アセスメントシート(PDF)読込による入力負担軽減機能」を利用することで、アセスメントをSOINに自動転記することができます。



「介護予防サービス・支援計画書の自動作成機能」は、SOIN に入力された利用者情報やアセスメント結果をもとに、AI が課題を抽出・整理し、計画書を自動生成する機能です。ワンクリック、約 3 分で計画書を作成します。

AI が入力データを分析することで、ニーズの把握や課題の明確化が効率的に行えるほか、「地域包括支援センターの意見」など AI で自動入力できない部分は強調表示されるため、ケアマネジャーは未入力箇所を容易に特定できます。また、手動または SOIN-AI Chat を使いながら修正も可能です。

**介護予防サービス・支援計画書**

名 テスト ケース 様	認定年月日 2025/9/10	認定の有効期間 2025/4/1	~ 2027/4/1	初回・紹介・継続	認定済・申請中	要支援1 <input checked="" type="checkbox"/> 要支援2 <input type="checkbox"/>	地域支援事業										
計画作成者氏名 システム管理者																	
計画作成(変更)日 2025/9/10 (初回作成日) 委託の場合:計画作成事業者・事業所名及び所在地(連絡先) 担当地域包括支援センター:																	
目標とする生活 1日 杖を使いながら家事と近所の散歩を自分で楽しめる生活 1年 趣味や地域行事に週2回参加し転倒なく自立生活を継続																	
アセスメント領域と現在の状況		本人・家族の意向		領域における課題(背景・原因)		総合的課題											
								課題に対する目標と具体策の提案		具体策についての意向 本人・家族		目標		支援計画			
運動・移動について		杖を使ってでも安全に屋外を歩きたい。		転倒リスクが高い 筋力低下と適切な歩行補助具未導入により転倒リスクが残る。		専門職評価で杖を選定し通所運動プログラムで筋力訓練を行う。自宅に手すりや滑り止めを設置して転倒を予防する。										本人は自立歩行を希望し家族も環境整備に同意。	
								日常生活(家庭生活)について		これまで通り自分で家事や入浴を安全に続けたい。		有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 安全に行える環境整備不足で入浴時や段差昇降時に転倒の危険がある。		本人は趣味や友人の交流を月2回以上楽しみたい。			
社会参加・対人関係・コミュニケーションについて		外出は週1回以上だが物忘れと転倒不安で活動範囲が限定。		有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 安全外出での転倒や認知機能低下への不安から社会参加が減少。		本人は趣味や友人の交流を月2回以上楽しみたい。										外出同行サービスと地域交流の場への参加会が週1回に留まり社会参加が減る。	
								健康管理について		医師の勧めで筋力維持の運動を継続したい。		有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 定期的な運動と転倒予防知識の定着が不十分。		本人は筋力維持の運動を継続したい。			
健康状態について																【本来行うべき支援ができない場合】 妥当な支援の実施に向けた方針	
□ 主治医意見書・生活機能評価等を踏まえた留意点								総合的な方針:生活不活発の改善・予防のポイント 転倒予防と筋力維持を軸に環境整備と通所リハを組み合わせ、外出支援で社会参加を促し生活機能の維持向上を図る。									
地域支援事業の場合は必要な事業プログラムの枠内の数字に印をつけて下さい。								計画に関する同意 上記計画について、同意いたします。									
予防給付 <input checked="" type="checkbox"/> または 地域支援事業 <input type="checkbox"/> / 5 <input type="checkbox"/> / 2 <input type="checkbox"/> / 3 <input type="checkbox"/> / 2 <input type="checkbox"/> / 3 <input type="checkbox"/> / 5								【署名】 地域包括支援センター									
年 月 日 氏名																	

\* SOIN-AI Chat を活用して修正も可能です。

SOIN AI Chat

テスト ケース 様の 介護予防サービス・支援計画書 に関する質問を入力してください

※ 入力内容は学習に使用されることはありませんが、氏名や住所などの個人情報の入力はお控えください。

あなたの質問 目標とする生活（1年）について、他の文章案を提案してください。

AIからの回答

そんなんです。ご質問ありがとうございます。以下、ケース内容を踏まえた「目標とする生活（1年）」の文章案をいくつかご提案します。ご本人の意向など詳細がまだ不明なため、一般的な内容ですが、ご参考にしてください。

---

文章案1

「引き続き、ご自宅で安全に日常生活を送りつつ、週1回以上の外出や地域での活動に参加できる状態を維持する。転倒や再骨折を予防し、現在の歩行・移動能力の維持を目指す。」

---

文章案2

「物や壁などに手を添えて安全に屋内外を歩行し、必要に応じて補助具を使用しながら、希望する場所へ安全に移動できる生活を1年後も継続する。」

---

文書案3

AIへの質問

## 《業務効率化と質の向上を両立》

今回のバージョンアップにより、アセスメント入力自動補完機能による入力負担の大幅軽減と、介護予防サービス・支援計画書の自動作成機能による帳票作成の効率化を実現しました。これにより、ケアマネジャーはアセスメントや帳票作成に費やす時間を削減し、利用者との対話や多職種連携といった本質的な業務に集中できる環境が整います。

株式会社シーディーアイは、今後も AI 技術を活用し、ケアマネジメントの質を一層高めるために、機能の拡充に努めてまいります。

### 《会社概要》

会社名：株式会社シーディーアイ（CDI）

中立性・独立性を備えた立場で介護業界全体を巻き込み、「介護×AI」をキーワードとしたオープンイノベーションを起こし、社会課題解決に挑戦することを目的として、2017年に産業革新機構、セントケア・ホールディング株式会社等により会社設立。2018年に、自立支援型 AI ケアプランシステムを国内で初めて商用化。

HP：<https://www.cd-inc.co.jp/>

AI ケアプラン SOIN(そわん)：<https://soin.tech/>

### 《お問い合わせ先》

〒104-0031

東京都中央区京橋 3-1-1 東京スクエアガーデン 14 階

### 【CDI サービスデスク】

電話：050-3645-3053

E-mail：info@cd-inc.co.jp

### 【お電話受付時間】

受付時間：24 時間 365 日

※一部の時間帯を除き自動応答にてご用件とご連絡先をお伺いし、内容確認でき次第、当社よりご連絡致します。